

特集

まがりかどの介護制度

代表 戸田 十九一

「地域医療・介護促進法」が6月18日に成立しました。それに先立つ6月3日さわやか福祉財団主催の「これからの地域支援事業を考える」フォーラムが府下の行政、社協、包括支援センター、事業者、NPO、ボランティア等が参加して開催されました。「いわふねクラブ」からも3名参加しました。これらから得た知見を基に私たちが今後係わらなくてはならない介護制度のあり方とナルク活動について考えてみました。

医療・介護をセットにして見直さざるを得ないのは、
① 認知症高齢者の増加、 ② 65歳以上の単独・夫婦世帯の増加、 ③ 介護保険料を負担する40歳以上の人口の減少の為です。その解決のためには、コストを抑えつつサービスを現状維持する「地域包括ケアシステム」（裏面に参考として厚生労働省のホームページからアウトプットしたイメージ図を掲載しました。）の構築を早急に進める必要があります。また、できるだけ専門職だけでなくボランティアの支援を組み込む必要があるのは、だれの目にも明らかです。

今回の法改正、特に介護保険改革のポイントは、

- ① 15年4月から特別養護老人ホームへの新規入居を原則「要介護3」以上に限る。
- ② 準備の整った市町村から17年度末までに「要支援」の通所・訪問介護サービスを国から各市町村に移行する。
- ③ 15年8月から一定の所得がある人の自己負担の割合を1割から2割に引き上げる。

この3点が大きな変更点です。

このことは、介護保険制度が始まって以来の大きな改編です。介護をしなくてはならない家族の負担を軽減するため、施設を作り専門職の手にゆだねるという理想が崩れるのではないかと指摘する声もあります。

介護度が重くならないと特養に入居できなくなる。また年間280万円以上年金のある人は負担が2割になるということ。それ以上に多くの人に関係するのは、国として全国一律になされていたサービスの内、自宅で暮らしている人が受ける訪問介護や通所介護（デイサービス）が市町村に移行されることです。市町村の裁量でサービス内容や料金が決められるようになり、地域間格差が生まれることも予想されます。今後サービスを受ける場合、交野市ではどうなるのだろうかと不安がよぎります。

そんな中、「さわやか福祉財団」が中心となり「新地域支援構想会議」が設立され、訪問介護・通所介護は専門職で対応し、その他のものは基本的に住民、市民が主体的に担う助け合い活動を優先すべきとの提言を出しました。

この構想の根底には「最後まで地域・自宅で暮らし、分かり合える友人と生きていてよかったと思える尊厳ある暮らしを目指す。その為にはそれを支える心の交流が出来る仕組みが必要なのだ」という講演の中でさわやか福祉財団の堀田力さんが言われた考えがあると思います。

我々「いわふねクラブ」としての関心事はこのような生活支援・介護予防の分野でどのようにかかわっていけばよいのかということです。何が出来て、何が出来ないのかを含め検討していく必要があります。

今後とも行政・社協・包括支援センターの動きを注視していく必要があると思います。

●さわやか福祉財団

自分を大切に、互いの個性を尊重しながら、困ったときはお互い様とふれあい助け合う。そんなふれあい社会をめざし ①地域で支え合う組織づくり ②政治や行政に制度の提言している公益財団法人です。理事長は堀田力氏。ナルクの顧問もされています。

●新地域支援構想会議

さわやか福祉財団、全国社会福祉協議会、全国生活協同連合会が呼びかけ人になり、高齢者支援に関する民間14団体が構成。さわやか福祉財団インストラクターとしてナルクも参加。構想会議の中で提言されている「助け合い活動の例として、みまもり・交流・ちょいボラ（随時の助け合い）・家事援助・食事（会食・配食）移動等が例示されています。



6月3日に開催されたフォーラムの様相

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
 - 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
 - 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。

地域包括ケアシステムの姿

